

令和4年3月23日

保護者の皆様

国富町立木脇小学校  
校長 畑中 勉

## 令3年度 学校評価の結果について（お知らせ）

春暖の候 保護者の皆様にはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より、本校の教育活動推進に際しまして、御支援と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、本年度の学校評価につきましては、御多用の中、12月の保護者アンケートに御協力いただき、誠にありがとうございました。そこで、同時期に実施しました児童アンケートや教職員の自己評価とともに整理し（学校の「自己評価書」の作成）、2月25日には学校評議員会を開催して御意見をいただいたところです（「学校関係者評価書」の作成）。

つきましては、学年の終わりの時期になりましたが、本文書「学校評価アンケート結果」と、別紙（両面印刷）「令和3年度 木脇小学校 学校評価・自己評価書」並びに「令和3年度 木脇小学校 学校関係者評価書」を配付いたしますので、御高覧いただきますようお願いいたします。

記

### 令和3年度 学校評価アンケート結果

… 評価集計並びに保護者コメントの集約 …

\* 「保護者コメント」は、改善すべき点や御要望をまとめて掲載しています。一部、編集させていただいております。御了承ください。

数値は4段階評価。「4…できている（とてもそう思う）」「3…まあまあできている（そう思う）」「2…あまりできていない（あまりそう思わない）」「1…できていない（そう思わない）」の平均点です。

#### 1 知育「進んで学ぶ子を育てる（かしこさづくり）」

	児童	保護者	職員（教師）
(1) 基礎学力の向上	3. 53	2. 68	2. 88
(2) 学習意欲の高揚	3. 03	2. 53 (▼0.04)	2. 36 (▼0.21)
(3) 読書活動の推進	3. 14	2. 34	2. 30

- タブレットやパソコンは、親が見ることがないので、分からないと答えました。
- 子供が、タブレットが難しすぎると言っています。家にICT機器がないからだと思います。  
⇒ 今年度は、ICT活用推進モデル校として取り組んでまいりました。「誰でも・どの教科でも」使えることを引き続き目標にして、指導に当たっていきます。また、文房具の一つとしてタブレットを活用した授業を、参観日等でも保護者の皆様に見ていただけるように取り組んでまいります。

#### 2 徳育「思いやりのある子を育てる（やさしさづくり）」

	児童	保護者	職員（教師）
(1) 規範意識の高揚	3. 55	2. 86	2. 60
(2) あいさつ・会釈の啓発	3. 41	2. 93 (▼0.08)	2. 70 (▼0.06)
(3) 思いやり	3. 51	3. 21	2. 80

#### 3 体育・食育「たくましい子を育てる（たくましさづくり）」

	児童	保護者	職員（教師）
(1) 体力や運動能力の向上	3. 49	3. 17	3. 20
(2) 健康的な生活習慣の確立	3. 59	3. 16 (△0.08)	3. 00 (△0.08)
(3) 食のマナーの徹底	3. 58	2. 78	2. 60 (▼0.1)

- マスクは任意です。子供の成長期に「こんなに苦しいマスクを！！」と言うのは、成長に低酸素になるなどリスクがあります。こういう文面を強く感じてしまします。先生の方からも気を付けてチェックして、子供達を守ってください。

⇒ 今年度は、新型コロナウイルス感染症の中でも、非常に感染しやすいオミクロン株の流行により、感染者が激増しました。児童の命を守るためにも、引き続きマスク着用については、ご協力いただきたいと存じます。体育等での激しい運動を伴う活動においては、感染対策を行って、マスクを外すなど、児童に負担がかからないように十分気を付けて指導を行います。

#### 4 連携「開かれた学校をつくる（開かれた学校づくり）」

	児童	保護者	職員（教師）	
(1) 情報の積極的な提供		2. 93	2. 71 (▼0.30)	3. 00
(2) 学校支援地域本部事業の有効活用		2. 75		2. 90
(3) 参観・懇談会への積極的な参加促進		2. 47		3. 10 (▼0.03)

● (2)、(3)は、答えが難しいですが、「そう思う」としています。特にどんな協力をされているのか分からぬので、答え方が難しいですね。

⇒ 学校支援本部事業とは、生活科や総合的な学習の時間等で、地域の方々から協力をいただいて活動できるようにする取組のことです。その他、中学校と合同で研究を行ったり、関係機関と連携して、児童の困り感を解決していったりと、学校だけでなくいろいろな機関と協力しております。

#### 5 その他

● 小学校に入学する頃、コロナの為いろいろなことが中止になりました。「例年通り」でお知らせが来たりしますが、例年を知りません。どのような様子で何をするのか改めてお知らせ（文書の時は表記）していただけると助かります。

⇒ 「例年どおり」といった説明だけでなく、可能な範囲でお伝えしていきます。

● 子供の下校がバラバラになっているのをよく見かけます。（高学年）不審者情報が多いのに、下校の対策があまりできていないように思います。

⇒ 低学年は、学年ごとに地区別で下校するよう指導しています。中・高学年については、学年でまとまって帰るように指導しております。青色パトロールの皆様にも下校の見守りについてご協力いただいているところです。今後も、下校指導の改善や、地域にも見守りをご協力いただきながら、安全な下校ができるようにしていきます。

### 【学校評価アンケート調査のまとめ】

- ① 「知育」「德育」「体育・食育」「連携」の項目ごとに見た場合、「知育」についてやや評価が低いですが、保護者の皆様にはやはり学力への関心（見方）が高いのでは、と伺えます。
- ② 「学習意欲の高揚」については、自分の考えを伝えたり、発表したりする自己表現について調査しましたが、3つの項目の中で最も低い結果となりました。これは、本年度新たに目標として加えた項目です。児童と保護者の回答にやや開きがありました。保護者の中には取組が不十分と考えている方がややいらっしゃるようです。また、「読書活動の推進」については、児童の評価と保護者の評価とには、開きがあるようです。家庭での読書の時間についても、今後連携して取り組みたいと考えております。
- ③ 德育の「あいさつ・会釈の啓発」については、児童・保護者ともに評価が若干低い傾向にあります。あいさつの様子をみると個人差が大きいように思います。引き続き指導・啓発に取り組んでまいります。
- ④ 体育・食育に関しては、保護者の皆様の「食のマナー」について評価が高まりました。また、児童の「体力や運動能力の向上」についての評価が若干下がりました。コロナ禍の中でも、児童が体を動かすことができるよう工夫してまいります。むし歯の治療率は63.3%と昨年度よりも高まりました。
- ⑤ 「開かれた学校づくり」では、学校支援コーディネーターの本田さんと連携して、感染防止対策を行いながら各活動を実施することができました。こうした取組を、今以上に地域や保護者の皆様に発信してまいります。

※ 本年度1年間の皆様の御協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

（別紙「学校評価・自己評価書」並びに「学校関係者評価書」は紙面の都合上、文字が小さく見づらくなっています。ホームページでも御確認いただけます。御了承ください。）